

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書（~~中間評価書~~）

平成31年3月18日

資料2-1

計画の名称	45 快適な暮らしを支える安全、安心な道路整備
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）
計画の目標	地域住民（町民）の生活拠点における主要な道路の整備や歩道設置等を推進して安全かつ円滑な通行を図るとともに、災害等の緊急時における避難地等の拠点への輸送、連絡ルートとしての機能を確立し、快適で安心して暮らせる町づくりに寄与する。
計画の成果目標（定量的指標）	1. 生活拠点となる小学校周辺の主要道路の整備を行い、安全かつ円滑な通行を図る。 2. 災害時に大型バス、トレーラーのアクセス可能な避難地箇所数の増加を図る。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)							
① 生活拠点となる小学校周辺の道路整備を行い、歩行者通行安全率を60%以上に向上する。 歩行者通行安全率 = Σ （路線安全度合） / Σ （路線重要度指数） 路線重要度指数 = （各路線の通学児童数 / 対象路線を通学する総児童数） × 各路線延長 路線安全度合 = 各路線の歩道整備率 × 路線重要度指数 ※対象路線は、各小学校から半径500m圏内に存する主要な通学路とする。	55%	—	60%							
② 災害時に大型バス、トレーラーのアクセス可能な避難地箇所の箇所数割合を80%以上に向上する。 箇所数割合 = （大型バス、トレーラーアクセス可能な避難地箇所数） / （避難地箇所総数）	66%	—	83%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,481百万円	A	1,481百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価（~~中間評価~~）

○事後評価（ 中間評価 ）の実施体制、実施時期	事後評価（ 中間評価 ）の実施時期
事後評価（ 中間評価 ）の実施体制	平成31年3月
・当該事業の評価を行い、学識経験者等から構成される小山町道路事業評価委員会を開き意見聴取を実施。	公表の方法
	町のホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
45-A1	道路	一般	小山町	直接	小山町	町道	改築	(他) 3975号線	バイパス L=1.6km	小山町						264	
45-A2	道路	一般	小山町	直接	小山町	町道	改築	(他) 1063号線	道路拡幅 L=0.3km	小山町						185	
45-A3	道路	一般	小山町	直接	小山町	町道	改築	(他) 1065号線	道路拡幅 L=0.1km	小山町						32	
45-A4	道路	一般	小山町	直接	小山町	町道	改築	(2) 用沢大御神線	道路拡幅 L=0.1km	小山町						8	
45-A5	道路	一般	小山町	直接	小山町	町道	改築	(都) 大胡田用沢線	バイパス L=0.9km	小山町						132	
45-A6	街路	一般	小山町	直接	小山町	S街路	改築	(都) 大胡田用沢線	バイパス L=0.5km	小山町						759	
45-A7	道路	一般	小山町	直接	小山町	町道	改築	(1) 上野大御神線	道路拡幅 L=0.9km	小山町						30	
45-A8	道路	一般	小山町	直接	小山町	町道	改築	(他) 2414号線ほか2路線	道路拡幅 L=1.0km	小山町						18	
45-A9	道路	一般	小山町	直接	小山町	町道	改築	(他) 2415号線ほか2路線	道路拡幅 L=0.5km	小山町						13	
45-A10	道路	一般	小山町	直接	小山町	町道	改築	(1) 足柄三保線	道路拡幅 L=0.1km	小山町						40	
小計(道路事業)											1,481						
A2 港湾事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
小計(港湾事業)																	
合計																	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 町道1063号線及び1065号線の現道拡幅や歩道整備等を行った結果、従前より交通の円滑化が図られ、歩行者の通行の安全性が向上した。また、1次避難地(小山中学校、成美小学校)への大型車両の進入が可能となり、防災機能が強化された。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（生活拠点となる小学校周辺の道路整備を行い、歩行者通行安全率を60%以上に向上する）	最終目標値	60%	目標値と実績値に差が出た要因	・学校近接で通学路となっている路線の整備が完了したため。
		最終実績値	65%		
	指標②（災害時に大型バス、トレーラーのアクセス可能な避難地箇所の箇所数割合を80%以上に向上する）	最終目標値	83%	目標値と実績値に差が出た要因	・避難地へ通じる路線の整備が完了したため。
		最終実績値	83%		
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> （他）3975号線、（2）用沢大御神線、（都）大胡田用沢線、（1）足柄三保線は、平成30年度から別途、社会資本総合整備計画（計画111）に移行し継続実施中。 					

参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	45 快適な暮らしを支える安全、安心な道路整備	交付対象	駿東郡小山町
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)		

